

～もかまわず (不顧～・不在乎～地)

「～もかまわず」(不顧～・不在乎～地) — ① 句型と例句

N2・CEFR B2

姓名： 日期：

STEP 1・先讀懂句型：先看下面的句型公式與說明，再把例句一句一句唸出聲音。看懂了、唸熟了，再翻到第 2 頁自己動筆寫。



柴犬老師陪你學！

名詞 → **+もかまわず** | **V/い形 (普通形)** → **+のもかまわず** → **不顧該在意的事而做某行為 (含負評)**

「～もかまわず」表示「對普通該在意的事、毫不在意就行動」、意思是「～も気にしないで」。句子帶有說話者「該在意卻不在意、有點不妥」的負面評價。

接續：

- ①名詞+もかまわず：「人目もかまわず泣く」「服が汚れるのもかまわず」的名詞型「人目・身なり・周り」。
- ②動詞・い形容詞 (普通形) +のもかまわず：「服が汚れるのもかまわず、子供を抱きしめた」「まだ熱があるのもかまわず出かけた」。
- ③な形容詞・名詞 (だ) +であるもかまわず：較少見、多用名詞直接型。
→ 重點：「の+もかまわず」用在動詞・形容詞句、名詞則直接接「もかまわず」。

定番搭配 (多為「該注意的對象」)：

- ①人目・世間体・周りの目 (旁人眼光)：「人目もかまわず大声で笑う」。
- ②身なり・服装 (儀容)：「服装もかまわず飛び出した」。
- ③迷惑・周りの状況 (場面)：「周りの迷惑もかまわず騒ぐ」。

最重要對比 — もかまわず vs にかかわらず (67-1)：

- ・「もかまわず」=不顧 (不在意「該在意的事」、含負評)：「人目もかまわず泣いた」(不顧旁人眼光哭了起來→帶「有點失態」語感)。
 - ・「にかかわらず」=無關係 (前項不影響後項、結果一樣、中性)：「天候にかかわらず開催する」(不論天氣都辦→純粹陳述)。
- 判斷法：句子若帶「明明該注意卻不管」的負面語感=もかまわず；只是「不受影響、一律相同」的中性陳述=にかかわらず。兩者中文都可能譯「不管」、但語感差很多。

注意：

- ①主詞通常是第三人稱、描寫別人「不顧～」的行為、帶旁觀者的評價。
- ②動詞句務必加「の」：×「汚れるもかまわず」→○「汚れる**の**もかまわず」。
- ③和「をよそに」(不顧旁人擔心/反對)語感相近、但「もかまわず」聚焦在「不在意該在意的事」。

例句 (9 句)

彼女は人目もかまわず泣き出した。(かのじよはひとめもかまわずなきだした。) 她不顧旁人眼光、哭了起來。

彼は服が汚れるのもかまわず、子供を抱き上げた。(かれはふくがよごれるのもかまわず、こどもをだきあげた。) 他不顧衣服弄髒、抱起了孩子。

まだ熱があるのもかまわず、彼は会社へ行った。(まだねつがあるのもかまわず、かれはかいしゃへいった。) 他不顧自己還在發燒、就去上班了。

周りの迷惑もかまわず、大声で電話している。(まわりのめいわくもかまわず、おおこえででんわしている。) 他不顧會吵到旁人、大聲講著電話。

彼は身なりもかまわず、毎日研究に没頭している。(かれは みなりも かまわず、まいにち けんきゆうに ぼっとう している。) 他不修邊幅、每天埋頭做研究。

雨に濡れるのもかまわず、彼は走り続けた。(あめに ぬれるのも かまわず、かれは はしり つづけた。) 他不顧被雨淋濕、繼續往前跑。

彼女は服が汚れるのもかまわず、地面に座り込んだ。(かのじょは ふくが よごれるのも かまわず、じめんに すわりこんだ。) 她不顧弄髒衣服、一屁股坐到地上。

子供たちは服が泥だらけになるのもかまわず遊んでいる。(こどもたちは ふくが だろだらけに なるのも かまわず あそんで いる。) 孩子們不管衣服沾滿泥巴、玩得正起勁。

彼は世間体もかまわず、自分の信じる道を進んだ。(かれは せけんていも かまわず、じぶんの しんじる みちを すすんだ。) 他不顧世俗眼光、走自己相信的路。

～もかまわず (不顧～・不在乎～地)

「～もかまわず」(不顧～・不在乎～地) — ② 練習

N2 • CEFR B2

姓名： 日期：

STEP 2・自己寫寫看：看左邊的提示詞，在底線上寫出完整的日文句子，記得加上正確的助詞與句尾。寫完再翻到第 3 頁對答案。

名詞 → +もかまわず | V/い形 (普通形) → +のもかまわず → 不顧該在意的事而做某行為 (含負評)

1 提示：彼女・人目 (ひとめ)

2 提示：彼・服が汚れる (よごれる)

3 提示：熱がある・会社 (ねつ)

4 提示：周りの迷惑・電話 (めいわく)

5 提示：彼・身なり (みなり)

6 提示：雨に濡れる・走る (ぬれる)

7 提示：彼女・地面 (じめん)

8 提示：子供・泥だらけ (どろ)

9 提示：彼・世間体 (せけんてい)

10 提示：(畏) 動詞要加「の」 (せつぞく)

11 提示：(畏) もかまわず vs にかかわらず (ちがい)

12 提示：(畏) 前項要是「該在意的事」 (たいしょう)

13 提示：(自由) 試験 (しけん)

14 提示：(自由) 順番 (じゅんばん)

15 提示：(自由) 化粧 (けしょう)

16 提示：母・服 (はは)

17 提示：選手・けが (せんしゅ)

18 提示：客・恥 (はじ)

19 提示：学生・授業 (じゅぎょう)

20 提示：彼・周囲の視線 (しせん)

21 提示：犬・泥 (いぬ)

22 提示：彼・寝ている人 (ね)

～もかまわず（不顧～・不在乎～地）

「～もかまわず」（不顧～・不在乎～地） — ③ 解答

N2 ・ CEFR B2

姓名： 日期：

STEP 3 ・ 對答案：以下為已驗證的模範解答。標示「參考解答」者為開放式題目的其中一種正解，並非唯一答案。

1 提示：彼女・人目（ひとめ）

彼女は人目もかまわず泣き出した。（かのじょはひとめもかまわずなきだした。）

かのじょはひとめもかまわずなきだした。

不顧旁人哭了。

2 提示：彼・服が汚れる（よごれる）

彼は服が汚れるのもかまわず、子供を抱き上げた。（かれはふくがよごれるのもかまわず、こどもをだきあげた。）

かれはふくがよごれるのもかまわず、こどもをだきあげた。

不顧弄髒抱孩子。

3 提示：熱がある・会社（ねつ）

まだ熱があるのもかまわず、彼は会社へ行った。（まだねつがあるのもかまわず、かれはかいしゃへいった。）

まだねつがあるのもかまわず、かれはかいしゃへいった。

不顧發燒去上班。

4 提示：周りの迷惑・電話（めいわく）

周りの迷惑もかまわず、大声で電話している。（まわりのめいわくもかまわず、おおこえででんわしている。）

まわりのめいわくもかまわず、おおこえででんわしている。

不顧吵人大聲講電話。

5 提示：彼・身なり（みなり）

彼は身なりもかまわず、毎日研究に没頭している。（かれはみなりもかまわず、まいにちけんきゅうにぼっとうしている。）

かれはみなりもかまわず、まいにちけんきゅうにぼっとうしている。

不修邊幅埋頭研究。

6 提示：雨に濡れる・走る（ぬれる）

雨に濡れるのもかまわず、彼は走り続けた。（あめにぬれるのもかまわず、かれははしりつづけた。）

あめにぬれるのもかまわず、かれははしりつづけた。

不顧淋雨繼續跑。

7 提示：彼女・地面（じめん）

彼女は服が汚れるのもかまわず、地面に座り込んだ。（かのじょはふくがよごれるのもかまわず、じめんにすわりこんだ。）

かのじょはふくがよごれるのもかまわず、じめんにすわりこんだ。

不顧弄髒坐地上。

8 提示：子供・泥だらけ（どろ）

子供たちは服が泥だらけになるのもかまわず遊んでいる。（こどもたちは ぶくが どろだらけになるのも かまわず あそんでいる。）

こどもたちは ぶくが どろだらけになるのも かまわず あそんでいる。
不顧沾泥玩耍。

9 提示：彼・世間体（せけんてい）

彼は世間体もかまわず、自分の信じる道を進んだ。（かれは せけんていも かまわず、じぶんの しんじる みちを すすんだ。）

かれは せけんていも かまわず、じぶんの しんじる みちを すすんだ。
不顧世俗走自己的路。

10 提示：(震) 動詞要加「の」（せつぞく）

(×) 汚れるもかまわず / (○) 汚れる**の**もかまわず

せつぞく
動詞・形容詞句要先加「の」名詞化。

11 提示：(震) もかまわず vs にかかわらず（ちがい）

(不顧・負評) 人目もかまわず / (無關・中性) 天候にかかわらず

ちがい
もかまわず帶負評、にかかわらず是中性陳述。

12 提示：(震) 前項要是「該在意的事」（たいしょう）

(×) 年齢もかまわず / (○) 人目もかまわず

たいしょう
前項要是本該在意的事（人目・迷惑等）。

13 提示：(自由) 試験（しけん）

参考解答

彼は明日試験があるのもかまわず、夜遅くまで遊んでいた。

（かれは あした しけんがあるのも かまわず、よる おそくまで あそんでいた。）
かれは あした しけんがあるのも かまわず、よる おそくまで あそんでいた。
他不顧明天有考試、玩到深夜。

14 提示：(自由) 順番（じゅんばん）

参考解答

その客は順番もかまわず、レジに割り込んできた。（その きゃくは じゅんばんも かまわず、レジに わりこんで きた。）

その きゃくは じゅんばんも かまわず、レジに わりこんで きた。
那位客人不顧排隊順序、插進收銀台。

15 提示：(自由) 化粧（けしょう）

参考解答

彼女は化粧が崩れるのもかまわず、思いきり泣いた。（かのじょは けしょうが くずれるのも かまわず、おもいきり ないた。）

かのじょは けしょうが くずれるのも かまわず、おもいきり ないた。
她不顧妝花掉、痛快地大哭一場。

16 提示：母・服 (はは)

母は服が濡れるのもかまわず、私を傘に入れてくれた。 (ははは ふくが ぬれるのも かまわず、わたしを かさに いれて くれた。)

ははは ふくが ぬれるのも かまわず、わたしを かさに いれて くれた。

媽媽不顧衣服淋濕、把我讓進傘下。

17 提示：選手・けが (せんしゅ)

選手はけがをするのもかまわず、ボールに飛びついた。 (せんしゅは けがを するのも かまわず、ボールに とびついた。)

せんしゅは けがを するのも かまわず、ボールに とびついた。

選手不顧會受傷、撲向了球。

18 提示：客・恥 (はじ)

彼は恥もかまわず、大声で歌い出した。 (かれは はじめ かまわず、おおこえで うたい だした。)

かれは はじめ かまわず、おおこえで うたい だした。

他不顧丟臉、大聲唱起歌來。

19 提示：学生・授業 (じゅぎょう)

学生たちは授業中なのもかまわず、おしゃべりを続けた。 (がくせいたちは じゅぎょうちゅう なのも かまわず、おしゃべりをつづけた。)

がくせいたちは じゅぎょうちゅう なのも かまわず、おしゃべりをつづけた。

學生們不管正在上課、繼續聊個不停。

20 提示：彼・周囲の視線 (しせん)

彼は周囲の視線もかまわず、彼女に駆け寄った。 (かれは しゅういの しせんも かまわず、かのじょに かけよった。)

かれは しゅういの しせんも かまわず、かのじょに かけよった。

他不顧周遭目光、朝她奔了過去。

21 提示：犬・泥 (いぬ)

犬は体が泥だらけになるのもかまわず、川で遊んでいた。 (いぬは からだが だろだらけに なるのも かまわず、かわで あそんでいた。)

いぬは からだが だろだらけに なるのも かまわず、かわで あそんでいた。

狗不管身上沾滿泥、在河裡玩得開心。

22 提示：彼・寝ている人 (ね)

彼は隣で人が寝ているのもかまわず、音楽をかけた。 (かれは となりで ひとが ねているのも かまわず、おんがくを かけた。)

かれは となりで ひとが ねているのも かまわず、おんがくを かけた。

他不顧旁邊有人在睡、放起了音樂。